

令和4年度 学校運営連絡協議会委員 学校評価アンケート集計結果

< 学校経営方針の重点 >

- 1 人権教育の推進 2 感染症予防対策の徹底 3 学力向上の指導の工夫 4 オリパラ教育と体力向上の指導の工夫

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価		委員の先生方のご意見やご感想
				スコア	評価	
人権教育	人権尊重の精神にたち、自他を大切に育てる。	生徒の人権意識、教職員の人権感覚を磨く。	教室環境を整備し、掲示物等を大切に作る。	82.9	A	◎子ども達が学ぶ環境整備はとても重要。 ◎教室の美化はよいが、掲示物は今一步工夫してほしい。
			生徒への丁寧な言葉遣いをする。	88.6	A	◎教職員と生徒同士の意識が大切。 ・生徒に対する言葉遣いは丁寧にできていると思う。
			生徒に敬称を付けて呼称する。	60.0	B	・部活動の様子は把握しにくい。◎場面によって使い分けていいと考える。 ◎親密度が増すと敬称略にはなるが、最後は信頼関係ができているかが問題。
感染症予防対策	感染予防を常に意識した環境づくりを推進し、感染拡大防止を最大限に図る。	新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら教育活動を推進する。	ノー3密（密閉、密集、密接）による教育活動の推進をする。	100.0	A	・コロナの中、学校の取り組みはとてもすばらしい。 ・よくでき、配慮されている。
			マスク着用、手洗い、うがいを励行し、咳エチケット等の基本的な健康マナーを徹底する。	100.0	A	・生徒、教職員ともしっかり守っている様子がうかがえる。 ・よくでき、配慮されている。
			感染予防対策を講じながら、教育活動を推進する工夫をする。	100.0	A	◎マスク着用義務がなくなった際の対策、特に、生徒に納得感のある対策の検討・実施をお願いしたい。 ・よくでき、配慮されている。
学力向上	学習の基礎・基本の習得、課題解決のできる思考力・判断力・表現力の育成。	基礎・基本を確実に身に付けさせる。	学ぶ意味を理解させ、興味・関心を引き出す。	60.0	B	◎引き続き学力向上への努力を期待する。◎公開授業は生徒の様子が分かりよい。 ・授業は工夫を凝らしていました。特に若い先生方は良かった。
			家庭学習を定着させるための取り組みを工夫して行う。	48.6	C	◎家庭学習の定着と宿題増は必要十分条件ではない。カリキュラムをこなすだけでなく、教職員の創意工夫を加えていただきたい。 ◎最後は家庭学習が大切です。更なる学力アップをしてほしい。
			タブレットPC、電子黒板等のICT機器を適切に活用している。	54.3	B	◎PC等は、教える1つの手段であり、頼りすぎはダメ。 ・若手先生は、電子黒板など、積極的に使っていて良かった。
オリパラ（体力向上）	オリパラの精神やスポーツ、文化、環境について学び、様々な運動を工夫し体力向上を図る。	オリパラのレガシーを活用し、スポーツに興味・関心をもたせる。	各教科・領域でオリパラに関連付けた学習をする。	65.7	B	◎一方通行の講演会から生徒と双方向交流の図れる取り組みにブラッシュアップしてほしい。 ◎オリパラ・レガシー教育の意義が保護者にあまり周知されていないのでは。
			元オリンピック選手やアスリートによる講演会や体験授業をする。	100.0	A	◎本物を見せ、伝えることは良いことです。続けてください。 ◎西中の卒業生など、なるべく身近な人を招聘し、先輩たちにできたのだから自分たちにもできるという夢を持たせてほしい。
			広い校庭や体育館の機能を有効活用した運動・遊びを推進する。	65.7	B	・様々な改善されているようで良い。 ◎テニスコート、体育館の開放は良いと思う。 ◎『西中＝部活等で活気がある学校』のイメージがある。最近は活気がない気がする。

特別支援教育	特別支援教室の生徒及び通常学級の生徒で支援の必要な生徒に特別支援教育の実践をする。	インクルーシブ教育の視点に立った教育活動の推進をする。	教材の工夫、指導内容・指導技術の工夫をする。	94.3	A	◎工夫が生徒や保護者に伝わるように取り組んでほしい。 ◎課題のある生徒への素早い対応をお願いします。
			ユニバーサルデザインを活かした教室の環境整備をし、清潔な教室にする。	88.6	A	◎教室の掲示物はシンプルで良いが、生徒が一日過ごす場所なので、更なる居心地の良い環境を作り进行したい。
			学校教育支援員、スクールサポーターによる授業の補助・支援をする。	54.3	B	◎授業補助等と併せて、安否確認や不登校生徒への対応、学習支援を考えてほしい。
心の教育	人権教育を柱として、心の教育を推進する。	自尊感情及び自己肯定感を育む教育の推進をする。	教員から生徒・保護者等へ積極的に挨拶をする。	88.6	A	・子ども達から挨拶され気持ちよかったです。 ◎通学路に家があるが、最近、中学生が挨拶をしなくなった。不審者などの問題もあるが、地域の方々に挨拶できる西中生であってほしい。
			道徳の授業で考える場面や議論する場面を設定する。	88.6	A	◎生徒の言動の現れるまで、困難もあると思いますがPDCAサイクルに乗せて長期的に継続してほしい。 ◎自分の意見を発表し、他人の意見も聞いて尊重し、他人の意見からも自分自身が向上できる西中生であってほしい。
			成功体験を積みませ、達成感を味わわせる。	65.7	B	◎成功体験を先生方が褒めることで、自己肯定感を高めてほしい。何かと「言葉の力」を生業にする先生方なので、「生徒の活力が高まる言葉掛け」をお願いします。
進路の実現	キャリア教育の視点に立った進路指導を推進する。	3年間を見通した系統的・計画的な進路指導を実践する。	将来の夢・目標をもたせる取組をする。	60.0	B	◎キャリア形成には保護者の関りが不可欠なので、学校と家庭が連携した取り組みを工夫してほしい。 ◎保護者や周りの大人の仕事から、また職場体験を通して職業観をしっかりとイメージさせ、中学生の今、何を考え、何をしていくのか考えさせてほしい。
			小学校と連携したキャリア・パスポートによる系統的な進路学習の実践をする。	54.3	B	◎連携をとるときは、こちらから心を開いてアプローチしないと相手は心を開いてくれない。関係小学校と地域と一体となった学校づくりを進めてほしい。
健康・安全	健康で、安心・安全な学校運営を推進する。	教職員が一丸となって命を守る教育を推進する。	全教職員で組織的にアレルギー対応をする。	54.3	B	◎「命を守る」という項目なので、アレルギーだけでなく「命の尊さ」をメインにした方が良いのではないかと考える。
			様々な災害を想定した避難訓練・避難行動を実施する。	88.6	A	◎今の時代、何が起こるかわからないので、様々な訓練を引続きお願いします。 ◎登下校時の安全確保も必須課題です。地域と連携した取り組みを工夫して実施してほしい。 ◎今後の様々な災害を予測し、小学校、地域と連携しながら継続的に訓練してほしい。学区が広いので、引き渡し訓練はよく考えてほしい。
生活指導	学校いじめ防止基本方針を基にした全教職員による組織的な生活指導を推進する。	問題行動を後追いつる指導ではなく、未然防止する積極的な生活指導をする。	いじめを絶対に許さない生徒の育成、生活指導の徹底をする。	62.9	B	◎保護者、地域との連携の工夫を進めてほしい。 ◎文頭に書かれている内容が良い。後追い指導ではなく、子どもが達に考えさせ、未然防止の取り組みが大切。 ◎いじめは目に見えない案件が多いので、いかに生徒に寄り添うかが大切。 ◎西中だけでなく、市内全体で取り組んでいるのでは。
			生徒の心情や考えを受け止め、傾聴し、生徒に考えさせる生活指導を実施する。	82.9	A	◎生活指導主任や管理職と記載されているが組織的に取り組んでいることが読みとれる表現にした方がよい。 ◎生徒が実感しなければ成果が出ているとはいえない。 ◎生徒は悩みを抱えているので、生徒の声を聴くことを徹底してほしい。特に、不登校生徒、おとなしくて消極的な生徒への配慮をお願いしたい。
			生徒からのSOSを敏感に把握するための体制・環境を整える。	62.9	B	・不登校生徒に様々に対応しているのはわかるが、それでも人数が多い。 ◎生徒にとって相談できる先生がいると良い。日々の生活の中で、生徒に寄り添って、話を聞いてあげられる先生が増えてほしい。

◎来年度の学校運営の参考とさせていただきます。